

## 委員会活動報告書

委員長名 松原 三智子

<b>【委員会名】</b> 教育課程委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎松原 三智子(北海道科学大学)、○山田 小織(佐賀大学)、¥草野 恵美子(大阪医科薬科大学)、伊木 智子(関西看護医療大学)、入野 了士(愛媛県立医療技術大学)、氏原 将奈(淑徳大学)、塩川 幸子(旭川医科大学)、高橋 郁子(帝京平成大学)、田場 真由美(名桜大学)、萩原 智代(日本赤十字秋田看護大学)  50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名	
<b>【活動方針】</b> 1. 公衆衛生看護技術の体系化と教育方法の検討、検討結果の公表・周知を行う。 2. 今後の社会情勢を見据えた公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの再検討を行う。	
<b>2023(令和5)年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. これまで明らかにしてきた公衆衛生看護技術に関する検討結果を会員校に周知する。 2. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて検討する。
<b>活動報告</b>	1. 全国保健師教育機関協議会における夏季教員研修の機会を利用して、活動領域に拠らない公衆衛生看護技術について周知すると共に、教育への活用方法について提示し、会員校の参加者と共に共有して検討した。 2017年度から教育課程委員会で明らかにしてきた、親子保健活動、高齢者保健活動および活動領域に拠らない公衆衛生看護活動における公衆衛生看護技術について、報告書を作成し会員校(239校及び個人会員3名および、保健師関連団体6団体)に送付することにより周知を行った。 活動領域に拠らない公衆衛生看護技術の教育への活用方法について、協議会誌「保健師教育」に事業報告として公表を行った。 2. 教育課程委員会のメンバー及び理事に向けて、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム2017における検討委員会・委員長より、作成過程や作成時のポイントなどの学習会を開催して理解を深めた。 既存の公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの内容を、改訂に向けて保健師のコンピテンシーベースに合わせて整理しなおし、新たに加える必要がある教育内容について検討した。 2023年11月19日(土)に会員集会を開催し、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けて現在の進捗について報告を行い、グループワークで「育てたい保健師像と、そのために強化すべき教育内容」について、会員校の参加者とグループワークを実施して共有した。 3. 1.2.の活動を行ううえで、24回(対面(2日×2回)+遠隔会議20回)の会議及び、グループ活動を行った。 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に反映するべく、保健師の未来を拓くプロジェクトにも委員会から1名参加し、保健師のコアバリュー・コアコンピテンシー作成について共有した。